

薩摩川内市都市計画マスタープラン

平成28年3月

薩摩川内市

はじめに

本市は、平成16年10月に市町村合併し、早くも10年が経過しましたが、この間、九州新幹線鹿児島ルート¹の全線開業や南九州西回り自動車道川内隈之城道路の開通をはじめ、川内港と甕島を結ぶ高速船「甕島」の就航など、交通インフラ等の都市環境が整備され、医療・福祉、教育・文化、産業、行政などの機能集積により、本市の核となる拠点の形成に努めるなど、北薩地域の中核都市としての役割を果たしています。



現在、早期完成が望まれる南九州西回り自動車道、川内川川内市街部改修、重要港湾川内港の整備、藺牟田瀬戸架橋などの大型プロジェクトが展開される一方、加速する少子・高齢化による集落機能の低下、東日本大震災を契機とした防災意識の高まりやエネルギー政策を取り巻く環境の変化が重要視され、従来の都市づくりのあり方から構造的な大転換を迫られるなど、都市づくりを取り巻く環境も大きく変化しており、それらに対応したきめ細かな都市づくりが求められています。

このような状況を踏まえ、今後も持続可能でコンパクトな都市づくりを計画的に進めるため、秩序ある市街地形成に向けた土地利用の誘導や規制、都市施設の整備促進、自然環境の保全などの都市計画施策を体系的にまとめた「薩摩川内市都市計画マスタープラン」を策定いたしました。

本マスタープランは、おおむね20年後の本市が目指すべき都市づくりの方向性を定めるものとして、基本理念を「水・自然・歴史・文化と親しみ、暮らしきらめく快適交流拠点都市・薩摩川内」とし、全体構想として定めた基本的な方針に基づいて、地域の現況や課題に対応した各地域における都市づくりの目標像及び方針を掲げています。これらを実現するためには、まちづくりの主役である市民の皆様方と互いに協力しながら取り組み、都市の均衡ある発展を図ってまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本マスタープランの策定にあたり、市民の皆様のご意向を積極的に計画へ反映するため、住民アンケート調査やパブリックコメントを実施するとともに、地域住民ワークショップでは本市が抱える都市計画上の課題等に対する貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様並びに関係機関各位をはじめ、ご助言・ご指導賜りました策定委員の皆様方に対しまして、心から厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

薩摩川内市長 岩切 秀雄

目次

第1章 都市計画マスタープランの役割と策定概要	1
(1) 役割	1
(2) 策定概要	1
第2章 都市概況と市民アンケート	3
(1) 都市を取り巻く社会情勢の変化	3
(2) 本市の都市概況	5
(3) 市民アンケートの実施概要	27
(4) 市民アンケート結果（地域の現状について）	28
(5) 市民アンケート結果（今後のまちづくりの方向性について）	30
第3章 都市づくりの課題	39
第4章 薩摩川内市の将来都市像	50
4-1 都市づくりの基本理念	50
4-2 都市づくりの基本方針	51
4-3 都市づくりの進むべき姿	52
(1) 今、コンパクトシティを目指すのは	52
(2) 薩摩川内市の都市づくりの進むべき姿	53
(3) 多極ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けた拠点の考え方	53
4-4 都市づくりの体系	57
第5章 全体構想	58
5-1 土地利用の方針	58
5-2 市街地整備の方針	63
5-3 都市施設（道路・交通）の方針	66
5-4 都市施設（公園・緑地）の方針	69
5-5 都市施設（その他）の方針	72
5-6 景観形成の方針	74
5-7 防災の方針	75

第6章 地域別構想.....	77
6-1 地域区分.....	77
(1) 地域区分の基本的な考え方.....	77
(2) 各地域区分の考え方.....	77
6-2 川内西部地域.....	78
6-3 川内北部地域.....	82
6-4 川内中央部地域.....	86
6-5 川内南部地域.....	92
6-6 樋脇地域.....	96
6-7 入来地域.....	100
6-8 斧淵地域.....	104
第7章 都市計画マスタープランの推進について.....	108
(1) 都市づくりの推進体制.....	108
(2) 各種制度の活用・連携.....	109
(3) 都市計画マスタープランの進行管理.....	109
資料編.....	110
1 薩摩川内市都市計画マスタープラン策定委員会委員名簿.....	110
2 薩摩川内市都市計画マスタープラン策定の経緯.....	111
3 薩摩川内市都市計画マスタープラン策定ワークショップ.....	112
4 用語集.....	114

